

令和3年度病害虫発生予察注意報第6号

令和3年7月16日
愛知県

作物名：水稲（早生種）

病害虫名：斑点米カメムシ類（イネカメムシ）

- 1 発生地域 県内全域
- 2 発生程度 多い

3 注意報発表の根拠

7月上旬の巡回調査における本田のすくい取り調査（52地点103ほ場）において、イネカメムシの捕獲数が平均0.05頭（平年0.01頭、昨年0.03頭）、発生ほ場率は3.88%（平年0.57%、昨年1.92%）と、ともに過去10年間と比較して最も多かった。

4 防除上注意すべき事項

- （1）本種は、出穂前後から水田に侵入するため、ほ場をよく観察し、発生状況の把握に努める。
- （2）周辺の水田よりも出穂期の早いほ場では、本種が集中して飛来することがあるので特に注意する。
- （3）登熟初期の加害は不稔粒の原因になるため、下表を参考に出穂前後の農薬散布を行う。その後、発生が多い場合は、7～10日後に再度防除を行う。薬剤によって散布適期が異なるので注意する。

表 斑点米カメムシ類に対する主な防除薬剤

薬剤名	使用時期	使用方法	本剤の使用回数	IRACコード
キラップ粒剤	収穫14日前まで	湛水散布	2回以内	2 B
キラップフロアブル	収穫14日前まで	無人ヘリコプターによる散布、 空中散布、散布	2回以内	2 B
エクシードフロアブル	収穫7日前まで	無人ヘリコプターによる散布、 散布	3回以内	4 C
スタークル／アルバリン 粒剤	収穫7日前まで	散布	3回以内	4 A
スタークル液剤10	収穫7日前まで	無人航空機による散布、 空中散布、散布	3回以内	4 A
スタークル豆つぶ	収穫7日前まで	散布	3回以内	4 A
スタークル／アルバリン 顆粒水溶剤	収穫7日前まで	散布	3回以内	4 A
ダントツ粒剤	収穫7日前まで	散布	3回以内	4 A

キラップ粒剤の散布適期は、**出穂10日前から出穂期まで**なので注意する

IRACコードは殺虫剤の作用機構による分類を示す。

IRACコードの詳細はhttp://www.jcpa.or.jp/labo/pdf/2020/mechanism_irac02.pdfを参照する。

使用回数には、同一有効成分を含む剤の使用回数を含む。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。

5 連絡先

農業総合試験場環境基盤研究部病害虫防除室

電話 0561-62-0085 内線471